



右／弥陀堂外観 左上／本尊の阿弥陀三尊像(県指定文化財) 左中／大きく面取りされた舟肘木 左下／つり上げて、光や風を入れる部戸



まちに国宝があるという喜び

金蓮寺弥陀堂

吉良町饗庭の田園風景に溶け込み、ひっそりとたたずむ金蓮寺弥陀堂。犬山市の犬山城天守、茶室如庵と並ぶ、愛知県に3つしかない国宝建造物の一つです。檜皮葺きの屋根が美しい小さなお堂は、今日も静かに人々の訪れを待っています。

愛知県最古の建築物

金蓮寺弥陀堂は「仏像を安置する須弥壇が建物中央よりやや後方に位置する」「中央に4本あるはずの四天柱の前2本が省略された形態である」などの構造から、鎌倉時代に建てられたと考えられています。

鎌倉幕府を開いた源頼朝が三河国の守護・安達盛長に命じて造らせた三河七御堂の一つと伝えられ、現存する県内最古の建築物です。堂内中央には県指定文化財の阿弥陀三尊像が安置されています。

国宝に指定された理由

鎌倉時代までに建てられた阿弥陀堂建築で現存するものは全国で20棟余り。その中で金蓮寺弥陀堂が国宝に指定された最大の要因は、貴族住

宅風の様式が醸し出す洗練された美しさが高く評価されたからといわれています。

弥陀堂の大きな特徴は、鎌倉時代の建築とされながら、平安時代の貴族住宅風の建築様式を色濃く残している点です。屋根はヒノキの皮を厚く重ねた檜皮葺きで、棟から軒先にかけて美しい曲線を描いています。ひさしが長く張り出しているのが、見る位置でお堂の印象が大きく異なります。建物の内部は、床・壁・天井とも木製の簡素な造りで、飾りはほとんど見られません。柱や舟肘木などは大きく面取りされています。正面の建具は部戸と呼ばれ、つり上げて光や風を取り入れることができます。いずれも平安時代の貴族住宅や、天皇の住まいである内裏で用いられた様式と共通する特徴を持っています。

「吉良あないびとの会」インタビュー わがまちの国宝を伝えたい



「吉良あないびとの会」の皆さん。左から鈴木明子さん、松原正行さん、朝岡一司さん、黒部五郎さん、齋藤浩一さん（いずれも吉良町）

弥陀堂の魅力は？

- 季節や時間、見る場所や角度によって違う姿を見せてくれること。裏山に続く道で、弥陀堂の屋根を同じ高さから見るのがお勧めです。（松原さん）
- 歴史的な重み。鎌倉時代から同じ場所で、風雪に耐え修理を繰り返しながら、ほぼ姿を変えずに鎮座してきたことを考えると、ロマンを感じます。（朝岡さん）

見学した人の反応は？

- 多くの人が、ひっそりとした雰囲気気に入ってくれています。周りに大きな塀などもなく、遠くからでも静かにたたずむ姿が見られることが魅力だと感じてくれる人もいます。（鈴木さん）

国宝をガイドする気持ちは？

- 最初に「国宝はどれか？」と聞くと、多くの観光客は仏像を指さすので、お堂の魅力を知ってもらおうとモチベーションが上がります。（黒部さん）
- 市などを経由せず直接申し込む団体は、他の観光のついでじゃなく、ピンポイントに金蓮寺に関心を持っている場合が多い。絶対に満足してもらいたいと、いつもより気合が入ります。（齋藤さん）

弥陀堂への思い

- 立派な観光資源なので多くの人に訪れてもらいたいです。その反面、静かで厳かな今の雰囲気を守りたい気持ちもあります。たとえ今のままでもずっと見守り、良さを伝え続けていきたいです。（鈴木さん）

ガイドの申し込みやお問い合わせは、吉良あないびとの会 黒部さん（☎35・1292/吉良町）へ。

個性的な御朱印が人気

近年、神社仏閣を巡り御朱印を集める観光客が多く、金蓮寺のユニークな御朱印は人気を集めています。書いているのは住職の東松宏俊さん。現在90歳の東松さんは、今も朝夕決まった時間にお寺の鐘を突き、饗庭の里に時を告げています。十数年前までは普通に漢字で「国宝弥陀堂」と書いていた。皆さんの御朱印帳にある他の寺社の御朱印のようにうまく書けなかったので、逆に崩して書いてみたらこうなった。見る人に微笑みかけるような優しい御朱印をいただくに、今日も県内外から観光客が訪れています。



御朱印を書く東松住職

金蓮寺弥陀堂の魅力伝える吉良あないびとの会

金蓮寺弥陀堂の見学には、ボランティアガイド「吉良あないびとの会」を利用するのがお勧めです。お堂の魅力や歴史的価値を余すところなく



弥陀堂の特徴を語る松原さん

吉良あないびとの会は1月13日、荻原地区コミュニティ推進協議会のイベント「郷土の歴史を学ぼう」で、小学生など約80人の参加者に弥陀堂の魅力を語りました。子どもたちは「建物は古いけどきれいだ」「お堂の中心まで見れてよかった」と、間近で国宝を楽しんでいました。同会は毎年5月に弥陀堂の見学会を開催。メンバーのガイド技術を磨きながら、多くの人に魅力を伝えていきます。市内には多くの観光資源があり、それぞれに魅力があります。金蓮寺弥陀堂の魅力は、いにしへの雰囲気そのままだけに、形を変えず残しているところにあります。ぜひ一度足を運んでください。